

平成23年度「学校協議会」記録（第1回）

日 時	平成23年7月13日（水） 15:30～17:00			
参加者	協議会委員	職名等	学校事務局	校務分掌等
	松本紀容子	守口市教育センター所長	国津賢三	校長
	森口 久子	森口医院	中西恒雄	教頭
	小谷裕実	花園大学教授	大鳥圭司	教頭
	福田 章男	社会福祉法人理事長	内海良和	事務長
	米丘幸穂	障がい者支援センター所長	室田 誠	小学部主事
	藤田浩子	卒業生保護者	出羽 卓男	中学部主事
	渋谷登志子	守口市障がい福祉課	佐野 薫	高等部主事
	学校事務局	校務分掌等	山本由紀子	教務部長
	奥 和浩	情報部長	藤川泰生	進路部長
	坂東敏男	研究部長	早野眞美	支援教育コーディネーター
	大町隆宏	通学バス部長	松井裕子	自立活動部長
	反町元司郎	総務部長	山根奈津子	健康安全部長
	篠矢理恵	指導養護教諭	中野 学	生徒指導部長
	おもな テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の情報発信について ・福祉と教育の連携の取組（自閉症の生徒の移行支援について） 		
協議内容 の概略	<p>○各分掌での校務内容を情報発信の切り口で見直し、どのような活動を行っているかを報告</p> <p>○福祉と教育の連携事業の2年目の取り組み計画の報告</p>			
協議及び提言 の概要	<p>○各分掌で情報発信について業務検討していただき、様々な仕事をこなしていることがよくわかった。情報発信についていえば、対象業務が多すぎる。学校活動の活性化、地域交流につながるもの、進路拡大につながるもの等情報発信の的を絞って取り組まれるのがよいと思う。</p> <p>○情報の発信という限りは教育や福祉の状況を変えていくような社会全体に向けた発信を考えて欲しい。</p> <p>○学校HPにはどれくらいアクセスがあるのか？学校HPについては更新の時期、対外的な内容の線決め等をしないと膨大な作業になる。</p> <p>○不審者情報についてはリアルタイム、全保護者向けが望ましいが、内容によっては発信相手を限ることも必要かもしれない。障がい者が不審者と間違われる可能性もあり、それに対しては守られるべきである。不審者情報は保護者は基本的に把握したい立場であり、生徒のみへの指導は不審者情報が保護者に伝わりにくい。家庭でも話題にして未然に防ぐ手立てとしたい。生徒のにとって不審者の何に気をつけるのかわかりにくいので、そここのところの指導が大事。</p> <p>○スクールバスの運行状況はネットカメラで発信することができるのでは？</p> <p>○今回東日本の大災害に対して、本校のような支援学校はどのように災害に対応できるのか、新たに考えておく必要がある。また、HPなどで発信しておくことが大事。</p> <p>○守口市の福祉部では学校から様々な発信を受けている。連絡協議会では様々な専門部会に分かれているので、情報をもらえば通所サービス部会で守口支援の児童生徒への対応が可能。福祉と教育、教育と福祉の連携が深まるので、これからも様々な情報交換をしたい。</p>			

